

会報

# よろこび

第104号

発行 茨城よろこびの会

<http://www.ibasouken.org/yorokobi.html>

令和4年6月発行



「クチナシの花と実」

## 小満

会長 飯田 則子

若葉の眩しい季節となり、早くも梅雨に入りましたが、夏日があつたりと不順な毎日です。新型コロナウイルスはなかなか収まらず、油断できない日常になっています。

この度、茨城よろこびの会では令和4年度の定期総会を6月9日(木)に開催することができました。会員の皆様にお会いでき、お一人おひとりの近況を直接伺い皆様との絆を深めることができました。また、今年度の事業計画として「がんフォーラム」で映画「がんになる前に知っておくこと」の上映を予定しました。いまだコロナ禍ではありますが、感染が収束し開催できる状況となることを願っております。

私事ですが3月上旬、大腸のポリープ剥離手術で入院を余儀なくされました。友達から届けられた本を持ち込んでベッドでの7日間を過ごしました。その本の中の1冊「大人の掛軸入門」安河内 眞美著は、二十四節気に合わせて絵柄を掛軸に仕立てた写真が満載されており移りゆく四季折々の風情を堪能し、すっかり時間を忘れさせてくれました。江戸時代から主に使われていた旧暦から、現在私達が使っている新暦になった経緯や日常使われている啓蟄、春分、秋分等の名称は二十四節気の名前であることを知りました。

私は、「清明(4月5日頃)」「穀雨(4月20日頃)」「芒種(6月6日頃)」を、初めて目にしました。偶然でしょうか、その日病院で買った新聞に「ヴァイタルサイン」(患者の生命兆候のこと)が載っており、脈拍、呼吸、体温、血圧の意識レベルの観察を基本とする5つ目の意識レベルが良好の状態を「清明」と言うそうで、医療の現場でも同じ名称が使われていることを知りビックリし、嬉しくなりました。少しでも季節の移ろいを感じ、四季の風情を楽しみながらこれからの日々を過ごしてみたいと思いました。

※二十四節気は太陽や月の満ち欠けと関係なく四季がおよそ一巡する365日を24等分し、15日ごと名前をつけたものです。

## 茨城県立中央病院におけるがん診療にかかわる新たなセンターの開設について

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 病院長 島居 徹



新年度がスタートいたしました。いわゆるコロナ禍も3年目となり、あいにく第6波が落ち着かない中でのスタートで、新型コロナウイルス感染症の対応状況により、がん診療に様々な制限がでています。当茨城県立中央病院も県内最多クラスの感染症患者の入院治療を受け入れており、がん診療用病床が大きく制限される時期もあり、この状況が今後も続くなら感染症と如何に共生していくかを考える必要があります。がん患者さんにおかれましては、感染症を取り扱っている病院への受診や入院生活への不安がおりと思っておりますが、安心安全ながん診療を提供すべく感染対策を徹底して臨んでいます。

当院は今春、がん診療への新たな取り組みとして、2つのセンターを開設しましたのでご紹介いたします。

ひとつめは外科手術にかかわるもので、『ロボット手術センター』です。ロボット手術は手術用ロボット“ダヴィンチ”に代表され前立腺がんの手術で保険承認されたのが始まりでしたが、2年ごとの改訂のたびに新しい術式が保険収載されています。ロボット手術は体腔鏡手術（腹腔鏡や胸腔鏡）に分類されますが、開腹手術と同等のがんの制御に加え、体腔鏡手術よりも精度の高い操作が可能で、結果的により低侵襲な手術が可能とされています。当院は2014年に県内2番目の施設としてロボット手術を導入し、現在4診療科、13術式のがん手術を行っておりますが、診療科の拡大とともに手術日程やロボット関連の医療機器の管理が複雑になってきましたので、情報を共有し、より高度かつ安全安心な手術を推進する部門として多診療科・多職種の人員で構成しています。手術は各々の診療科でその適応、必要な検査、日程調整、説明などを行っておりますので、紹介受診のご希望の場合は主治医とよくご相談の上、紹介状をご持参ください。

さて次にご紹介するのはがん薬物療法にかかわる『がんゲノム医療センター』です。がんゲノム医療は近年目まぐるしく発展しており、標準治療後の新しい治療薬につながる可能性などから需要が急増しています。県内では3施設ががんゲノム医療の拠点あるいは連携施設となっておりますが、県央県北医療圏では当院に限り実施可能な医療であるため、増加している紹介依頼に応えるべく、やはり多診療科・多職種の人員で構成しています。昨年度は12月までで18件(2件/月)の遺伝子解析のためのパネル検査というものが行われ8割以上で推奨治療法が見つかっています。

今年度はさらに多くの依頼が予想されますので、ご希望の際は遺伝子解析に必要な試料や情報の提供について、まずは主治医の先生とよく相談いただきますようお願い致します。実際の治療は、当院で行う場合、紹介元に戻っていただく場合、あるいは治験参加などのためがんセンター中央病院や東病院、筑波大学などへ紹介受診いただく場合があります。

以上、当院ではいろいろなステージのがんに対応すべく、内科系・外科系の最新医療を整備していく所存です。今後ともご理解ご協力の程お願い致します。

## 友との約束

会員 山下 治美

私には、Aさんと言う大事な友人がいました。Aさんは都内在住でなかなか会うことは叶いませんでしたが、会いたいとの思いが強くなり、ついに叶ったのは、2019年の春のことでした。私は卵巣がんの経過観察中でしたが、Aさんは卵巣がんの再々発の治療を控えていたことから無理のないようにとAさんの最寄り駅付近を待ち合わせ場所を選びました。「はるみさんが行きたいところに案内するよ。」とAさんは笑顔いっぱい私を迎えてくれました。「浅草が良いな」とリクエストし、浅草寺や浅草神社、仲見世通りなど散策しました。

昼食時、お互いの今まで話せなかった詳細な病状や看護学生だった時のこと、看護師として病棟勤務していた時のことなど話は尽きず、Aさんは「休職中にケアマネジャーの資格を取ろうと思って」と話してくれました。私は今の仕事に生かせる資格、産業カウンセラーの資格を取ろうと思っていると伝えたところ、「なかなか取得は難しいけどお互い頑張ろうね」、「資格は違うけれど、励まし合って行こうね。」と約束しました。

会ってから数週間後、Aさんは再々発治療を行うも残念ながら効果がなく、副作用は重症化し日に日に体調が悪化し、Aさんは「もう治療の手立てが無いと主治医から言われたんだ。仕事も正式に退職して体調と折り合いをつけながら、試験勉強するね。はるみさんも頑張ってるね。」とメッセージが来ました。「茨城に来たい。」と言っていたAさんに、私は「最寄り駅の場所だよ。」と千波湖畔の夜桜の風景（右写真）をメッセージに添えて送りました。



2019年の初夏、産業カウンセラー養成講座がスタートし半年間、土曜日には面接実技演習を行い、オンラインで自宅学習を行い、平日は仕事を続けていたことから時間的な余裕は皆無でした。Aさんに会いたいと思っても週末は実技演習や課題学習などに追われ会いに行けず、メッセージを私から送っても、心配かけまいとAさんからの返事は、いつしか途絶えました。

2019年の夏のある日、Aさんが旅立たれたとメッセージをいただき、手を合わせに行きたいと思いましたが、仕事の関係で休むことは叶わず、ご家族に連絡させていただき弔電を送りました。四十九日までには弔問したいと共通の友人に伝えたところ、平日の夕方ならご家族の都合がつくとのことで、その年の秋、半日年休を取得し、数ヵ月ぶりに都内に向いました。Aさんのご主人から、「はるみさんの事はずっと話していましたよ。出会えて良かったと辛いはずなのに笑顔で話していました。会いに来てくれてありがとうございます。」と話して下さいました。その言葉を聴いて私は、涙が止まらなくなってしまいました。

受講期間中、休息時間が不足していたことが影響したのか、私は体調を崩すことが多くなり、2020年の晩夏に「左下肢リンパ浮腫」と診断されてしまいました。「無理しないこと、休息すること、浮腫まないようにすること、セルフマッサージを怠らないこと」と、療法士の方からアドバイスを受け、その中で試験勉強を続けていました。万全の体調で試験に臨むことが難しくなり、3回も不合格となり、自信を無くし、Aさんとの約束は果たせるのだろうか、無理して受験し続けて大丈夫なのだろうか、色々な思いが錯綜しました。



2021年の秋、コロナウイルス感染対策を厳重に実施したうえで、平日の空いている時間帯を見計らってAさんとの思い出の地、浅草寺を参拝し、2022年1月の試験は、もう1回諦めずに受験しようとの心に決めて帰宅しました。

試験日まで体調管理を怠らず、無理なく試験勉強を行い試験に臨みました。Aさんと会ってから3年後の2022年春、やっと私の元に合格通知が届きました。返事が来ないのは分かっているけど、Aさんに「やっと合格したよ。」とメッセージを送りました。体温を感じることは出来ないけれど、私の思い出の中にAさんは生き続け、私を励まし続けてくれたんだと思います。これから先もAさんとの優しい思い出を糧に、Aさんの分も悔いのない毎日を歩んで行きたいと思っております。

## 花供養

会員 田口 順子

私は、平成元年よりフラワーデザインの教室を行っております。そして平成29年より「花供養」という行事を始めました。

教室以外にも会場装飾や、ブライダルブーケを手掛け、大量のお花を消費している生業の中で花に対する感謝の気持ちを形に出来ないかと思いついたのが始まりで、平成16年に菩提寺であるお寺に相談したのですが、茨城ではあまり聞かない風習だということをお願い叶わず・・・。

翌平成17年に私は、がんを発病し、当初「肉腫」の診断名が付いた私は、「これから私の人生、生のあるうちに悔いのないようにやりたい事は全てやって逝こう」と誓いました。叶わなかった「花供養」を行いたいと、またお寺を探すことにしました。幸いなことに日蓮宗のお寺から同意を得ることができ、決行に至りました。

私が主催する教室の生徒さん、茨城県フラワー装飾技能士会の有志、県内の生花店、友人知人による供養祭が行われることになりました。平成29年の5月のことでした。花供養は、珍しいこともあり新聞社も取材に来ていました。そして3回目には、待望のお寺の新しい本堂が出来上がり、フラワー装飾のメンバーによる花祭壇を作ることにし、日程は御聖人の計らいで毎年4月8日のお釈迦様の生誕日が花祭と決まりました。



お寺の近郊には新聞広告を配布したことで参加者も増え、終了後にはお礼の気持ちを込めて皆様にお花を持ち帰っていただきました。春爛漫の桜花のもと、皆さん笑顔で私も発起人の方々も成し遂げた満足感で帰路につきました。

そして令和2年はコロナ禍のため開催を見合わせ、翌3年も中止し今年再び開催の運びとなりましたが、コロナ感染を案じ、発起人とお寺関係者にての供養祭となりました。

フラワーデザインをする時に「花首で切ってワイヤーかけて・・・」恩師の声が忘れられません。当時から首を切るという言葉に抵抗があった私、こんなにも人を美しく飾り、部屋を飾ってくれたお花に感謝をしたいという思いだけで始まった供養祭を生涯続けて行きたいと思っております。

コロナが収束し、再び多くの参加者を募ることが出来るようになりましたら、皆さん是非「花供養」(4月8日)にお寺に足を運んでください。心が洗われ、清々しい気持ちでお花を持ち帰ってください。お待ちしております。

## コラム「夏越の大祓（なごしのおおはらえ）」



1年の半分にあたる6月30日は、元旦から半年の間に身体に溜まった「穢れ（けがれ）」を落とし、残り半年の息災を祈願する神事です。

神社の境内につくられた「茅の輪」をくぐり、心身を清め無病息災や厄除け、家内安全を願います。「茅の輪くぐり」とも呼ばれています。近年、話題になっている「夏越しごはん」は、雑穀ごはん

の上に赤や緑の旬野菜で作ったかき揚げをのせ、おろしだれをかけた丼のことです。

時代の流れと共に、古いものが忘れられがちです。昔から受け継がれてきたものを敬い、大切にすることは忘れずにいたいものです。日本は季節にまつわる行事や風習が豊かな国です。古き良き日本を未来へ繋げたいものです。「茅の輪くぐり」は多くの神社で自由に参加できるので、足を運んでみてはいかがでしょうか？感染対策はしっかりしてネ！



## 帰還 ～空蟬の世の想い～

レディスピア県央 鈴木 佳子

夫(故 鈴木 研二氏)があちらの世界に引越して2年余り、長かったような短いような日々でした。旅立ち、家族のみで見送りましたので、皆様にお別れする機会を逃しました。夫は心理学者(臨床心理学・深層心理学)でした。自分では物書き業とも言っておりました。なので書き残した論文・詩を本にまとめることにいたしました。ハードカバーの「靈感」、最後の論文「生と死の間(あらい)」、詩集「るう」の3冊組で、あちらの世界に無事に引越した証として皆様にお送りいたしました。

少々、その本について紹介させていただきます。

### 『靈感』

夫の研究テーマは、「靈感」についてが最後となりました。「靈感」は日本の昔話を材料に目に映る世界の向こう側に開けるもう一つの世界と、それを捉える力についての研究をまとめたものです。

### 『生と死の間(あらい)』

夫は年に1~2本ずつ論文を書いておりましたが、これが最後の論文となりました。がんが判ってから書き始め、旅立つ半年前に出来上がりました。「聴耳頭巾」に描かれる老いた楠の木の死は、“実は死んでも死なない”死でありました。



### 詩集『るう』

最後まで書き続けたのは詩でした。体力的な問題があったかもしれませんが、今考えているようなことを表すには、詩という形が一番合っているように思うと言っておりました。詩というものが、物事の本質を捉え、表現するものだからかも知れません。

この度、茨城よろこびの会会報に夫の『詩』を載せていただけるとのこと、大変嬉しく存じます。生と死を合わせて生きる人の表現としてお読みいただけると幸いです。(詩はP.6に掲載)

## 詩集「るう」より

### 仲間たちよ

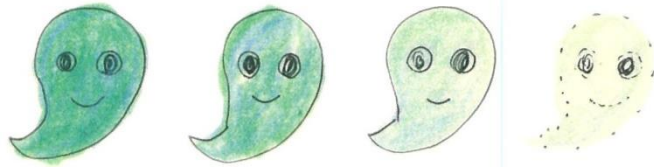
おれたちは  
見えない大きな流れでここにきた  
裸で  
なんにももたずに

時の旅人にして 無銭滞在者  
それでは飯代はとられる  
地上にも 地下にも  
空中にも 水中にも  
ワイワイ ワイワイ  
ワーイワイ、だ

みんな  
見たいものは見たか  
生きたいように生きてるか  
わかったことはなんだ？  
自分は自分だってことか  
自由のゆずれなさ？  
流れの神秘か  
それともおれたちが  
仲間だってことか

2019.2.1

やがていつか 旅が終り  
ここを去るのさ  
肩書きが外れ  
身体を脱ぎ  
名前をなくし  
あの流れにのるんだ



## 原稿募集について

会報よろこびの原稿を募集しています！がん体験談、旅行記、短歌、俳句、川柳、詩、エッセイ、趣味の作品、絵手紙、イラスト、写真などお待ちしております。



### < 原稿送付先 >

〒311-4145 水戸市双葉台 2-32-4

飯田 則子 宛



新型コロナウイルス感染症対策



# 屋外・屋内でのマスク着用について

- マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。  
一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。
- 屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**
- 屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**



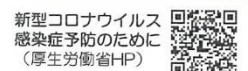
	距離が確保できる	距離が確保できない
会話を する	<p>マスク必要なし</p>	<p>マスク着用推奨</p>
会話を ほとんど 行わない	<p>マスク必要なし</p> <p>公園での散歩やランニング、サイクリングなど</p>	<p>マスク必要なし</p> <p>徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面</p>

	距離が確保できる	距離が確保できない
会話を する	<p>マスク着用推奨</p> <p>※十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可</p>	<p>マスク着用推奨</p>
会話を ほとんど 行わない	<p>マスク必要なし</p> <p>距離を確保して行う 図書館での読書、芸術鑑賞</p>	<p>通勤ラッシュ時や人混みの中 ではマスクを着用しましょう</p>

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。  
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。



夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。



## 行事予定 ※新型コロナウイルスの感染状況等により延期・中止になる場合があります。

### ○茨城よろこびの会

- ・第24回がんフォーラム 9月30日(金) 13:00～ 水戸市福祉ボランティア室会館(ミナ) 大会議室  
映画上映「がんになる前に知っておきたいこと」ほか  
※参加費無料 ※要事前申込(080-5429-8950 飯田まで)

### ○メンズピア

- ・毎月第3木曜日に定例会を開催(現在休止中)

### ○レディスピア県央

- ・7月14日(木) 10:00～ 水戸市福祉ボランティア会館(ミナ) ボランティア室  
「定例会」ピアカウンセリング
- ・9月8日(木) 10:00～ //
- ・10月13日(木) 10:00～ //



### ○レディスピア県西

- ・7月14日(木) 13:00～ しもだて地域交流センターアルテリオ「定例会」
- ・8月11日(木) 13:00～ // 「定例会」
- ・9月8日(木) 13:00～ // 「定例会」

## 年会費納入のお願い

令和4年度年会費の納入をお願いいたします。年会費は1,000円です。年会費は、会合のときに会計に直接納めていただくか、銀行又は郵便局でお振り込みください。

<お振込先>

・銀行振込 常陽銀行 本店 普通6848239  
茨城よろこびの会 会長 飯田則子

・郵便局振込 通帳記号 10640  
口座番号 27057181

## 編集後記

不順な梅雨が明けますと、気持ちがウキウキしてきます。でもそんな時、予期しない出来事が起きるものです。玄関で転倒し前歯を痛める、ちょっとした動きでギックリ腰になる、ましてや入院となりますと連絡は取れない、これからの予定は全く立たなくなります……。

広報委員は、事前に次回の編集会議の日を決め、それぞれが仕事や用事をやりくりし、手帳に予定を書き入れ、5人が一同に集まって会報の内容を話し合い、手分けして原稿集めにあたります。

皆様に喜んでいただけるよう頑張っております。皆様の感想やお便りを心よりお待ちしております。(広報委員一同)

発行人 茨城よろこびの会(がん体験者と家族の会)  
会長 飯田 則子  
連絡先 けんこうリンク(TEL 029-241-0011)